

活動分野	森に親しむ野外講座		
タイトル	奥塩原大沼の森を歩く		
実施日時	平成28年5月25日（水）7時30分～18時		
実施場所	栃木県那須塩原市 大沼公園		
受講者	45名	F I C会員他スタッフ	7名

活動の内容

標高 1,184mの火山富士山（ふじやま）の下部には、近くの高原山系の火山活動に伴う地形に起因し、大沼、ヨシ沼、赤沼等の多くの湿地が形成され、四季を通して森林・湿原・湖沼といった多様で豊かな自然を観察することができます。また、この地域は、日本で第一号の自然観察路である「塩原自然研究路」の一部をなし、起伏の少ない遊歩道により快適に森林浴や自然観察が楽しめます。

大沼の東側は通年で水をたたえており、フナやドジョウ等も棲息し、西側はヨシの群生地となっています。また、「日本森林浴百選」にも選ばれた南岸一帯には、ブナ、ミズナラ、ハルニレ、トチノキ、カツラ等の天然広葉樹の巨木群が見られました。

また、ズミやホソバノアマナ、マイヅルソウ、ニョイスミレの花の観察ができました。

赤沼は、モリアオガエルやクロサンショウウオの貴重な棲息地として知られています。

ヨシ沼はその名のとおり大部分がヨシの群生地であり、湿地の代表的なミツガシワ、ワタスゲ等が見られたほか、終わりかけでしたが、ミヤマザクラやウワミズザクラの花がまだ咲いており、観察する事ができました。

往路のバス車内で全体説明に加え、野鳥の声をマイクで流し、囀りを予習して実際の散策に対応・準備しました。

実際森にてキビタキ、センダイムシクイ、ツツドリ等 7-8 種の声が確認できました。

曇天でありましたが、雨も降らず当初スケジュール通りに実施ができ、帰路も渋滞に巻き込まれず、予定の 18 時前に松戸に帰着することができました。

爽やかな季節の森林浴を楽しみながら、皆様多様な自然・植生に満足された様子でした。

